



Uwasamon うわさもん

～益城の若もんも、がまだしよっばい！～

町でうわさの若者を紹介。

夢に向かって全力で進む若者を応援します。

頑張っているもの

エアロビック

名前 **矢野 遥輝** さん(19)

行政区 **安永3町内**

熊本学園大学2年生

2008年 FIG 世界選手権大会 in ドイツ AG1 男子シングル部門優勝 / スズキワールドカップ 2008 AG1 男女混合シングル部門準優勝 / 同 2009 AG1 男子シングル部門 3位 / スズキジャパンカップ 2011 AG2 男子シングル部門 3位 / 同 2014 シニア男子シングル部門 4位、シニアトリオ部門準優勝 / スズキワールドカップ 2015 シニアトリオ部門 6位

所属：Team OHMURA



「自分の最大限の力を出して表現し、何かを得る。『今のは決まった』と思うとわくわくするんです」とエアロビックの魅力語るのは矢野遥輝さん。4月に開催された世界エアロビック選手権大会一般トリオ部門で6位に入る実力者だ。「エアロビックの魅力にどっぷりつかっています」と続ける。エアロビックとはエアロビクスから発展したスポーツで、競技性が高いのが特徴。3歳のとき、母寿美代さんに連れられて行った先がエアロビック教室だったという遥輝さん。自然と入り込んでいった世界では、大村詠一さんとの運命的な出会いが待っていた。「すごい存在で、ずっと憧れでした」と当時の大村さんを振り返る。

現在の遥輝さんは、世界選手権の舞台で大村さんと肩を並べて躍る頼もしい存在に。「久しぶりの世界大会で緊張しましたが、それ以上にわくわく感が満載でした」と白い歯を覗かせる。生き生きとした表情の遥輝さんだが、これまで順風満帆だったわけではない。思うように成績が残せず、練習がきつくて嫌だった頃があるという。「先生や親には怒られるし(笑)」。

しかし、持ち前の強い上昇志向でスランプを抜け出すと、2008年のドイツ世界大会で初出場にして初優勝の快挙を達成。次々と好成績を残した。

「いろんな人に支えられ、厳しい言葉もあったから今がある。先生の厳しさもありましたが、それ以上に母の言葉が強く記憶に残っています。すごく感謝しています」。全国大会で表彰台の最上段に上るため、「目の前の大会を一つずつクリアして行きたい」と今の目標を話す遥輝さん。さらなる飛躍を期待したい。